

氏名	大岡 華子	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	社会福祉学				
学位	修士(福祉社会)				
学歴	2002年3月 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業 2004年3月 法政大学大学院人間社会研究科福祉社会学専攻(修士課程)修了 2017年3月 日本女子大学人間社会研究科社会福祉学専攻(博士後期課程) 単位取得満期退学				
経歴	2012年10月 埼玉県立大学保健医療福祉学部 助教				
所属学会(役職)	日本社会福祉学会・福祉社会学会・日本社会政策学会・埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2018年度実績】

1. 研究業績							
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了 ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月		
(1)著作							
1	該当なし						
(2)論文							
1	該当なし						
(3)学会発表							
1	該当なし						
(4)その他							
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間			
1	日本学術振興会科学研究費(若手研究B)		ホームレスや元ホームレスと生活保護制度の接点に関する実証的研究:研究代表者	2016.4～2019.3			
3. 教育業績							
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)				
(1)講義							
1	社会福祉概論	2018.4～2018.8	初年次導入科目であることから、具体的でわかりやすい講義になるように、映像・新聞記事なども活用し授業を展開した。一部オムニバス形式を用い、1年次から学科内の教員の講義を通して教員の研究分野に触れられるように工夫をした。				
(2)演習							
1	社会福祉演習	2018.4～2017.8	初年次導入科目であることから、レポートの書き方等大学での学ぶための基礎的な力を演習を通して身につけられるように工夫をした。				
2	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2018.10～2018.2	ヒューマンケア体験実習での学びを踏まえた上で、ソーシャルワーカーとしての基礎的な援助技術を身につけられるよう工夫をした。タブレットを演習のなかで取り入れた。				
3	社会福祉専門演習Ⅱ	2018.10～2018.2	履修を希望した4名の学生に対して、レポート・情報収集・レジュメ作成等4年次の卒業論文を書くまでの基礎的な技術を指導するとともに、地域福祉や貧困をテーマに文献の輪読・ディスカッション、男女共同参画センター等施設見学を行った				
(3)実習							
1	IPW体験実習	2018.9～2018.10	障害者生活支援センター(1施設)を担当し、学生の指導を行った。				
2	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	2018.6～2018.8	ソーシャルワーク実習Ⅱに向けて、個人票や実習課題の添削、事前学習の指導を行った。				
3	ソーシャルワーク実習Ⅱ	2018.8～2018.10	福祉事務所・社会福祉協議会等の相談機関で実習を行う学生の指導を行った				
4	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ	2018.10～2018.12	ソーシャルワーク実習Ⅱの事後指導として、グループ学習の指導、報告書作成や報告会にむけての指導を行った				
(4)論文指導							
1	該当なし						
(5)その他							
1	研修会 主催：パーフェクション論(富里)	2017.6	埼玉県立大学で開催する社会福祉士実習指導者講習会の実習スープーパービジョン論を担当した				

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	春日部市社会福祉協議会「ボランティア講座」	春日部市社会福祉協議会	「私たちの暮らしと子どもの貧困」	2018.10
2	公益財団法人いきいき埼玉彩の国 いきがい大学		「コミュニケーションの基礎～対人援助の技術を学ぶ～」	2018.11
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称		任期
1	目黒区	障害支援区分審査会 委員		2012.4～
2	越谷市	越谷市都市計画審査会 委員		2018.10～
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				
1	情報図書委員			
2	1年次学年担当			
3	公立大学協会社会福祉学系部会 担当			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			